

ところざわ 市議会だより

平成19年(2007年)10月26日/年4回発行
発行/所沢市議会 編集/議会報委員会
〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1



第144号



■秋空の下、今年も市内各地でスポーツ行事が開催されました。写真は三ヶ島中学校体育祭。

旧並木東小学校 跡地利用に関する予算を可決

おもな内容

- ◆第3回(9月)定例会 おもな議案の概要、議案に賛成×反対します、閉会中の議会活動……… 2~4
- ◆市政に対する一般質問……… 5~7
- ◆請願・陳情審議の結果、可決された意見書、市議会ココ3か月ほか……… 8

ページ

平成19年 第3回定例会(9月3日→9月19日)

質問・答弁は要旨を掲載しています。なお、会議録は市立図書館、市役所1階・市政情報センターなどで閲覧できます。

●本紙は古紙100%の再生紙を使用しています。 ●所沢市議会は環境に配慮した街づくりをしています。

●市議会ホームページアドレス <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/> →ようこそ市議会へ

請願・陳情審議の結果

	件名	提出者	結果
9月定例会分	○請願第8号 ところバスの新設について	山口地区自治連合会 会長 本橋 源一さん(山口) ほか11,930人	趣旨採択 (全会一致)
前定例会からの 継続審査分	○請願第4号 高層マンション建設に際し、良好な近隣住環境が維持できるよう適切な行政指導を願う件	所沢新町地区住環境対策協議会 代表 林 弘二さん(所沢新町) ほか1,069人	継続審査 (多数)
	○請願第7号 パイオニア跡地開発事業計画に際し、良好な近隣住環境が維持できるよう適切な行政指導を願う件	パイオニア跡地開発対策協議会 代表 小滝 正三さん(花園) ほか2,211人	採択 (全会一致)

市議会ココ3か月

- 7月13日 議会報委員会
- 17日 建設水道常任委員会
- 24日 市民環境常任委員会
- 8月8日 市民環境常任委員会
- 27日 代表者会議/議会運営委員会
- 29日 市民環境常任委員会
- 9月3~19日 第3回定例会
- 13日 議会報委員会
- 25、26日 決算特別委員会

インターネットでも
市議会の情報を
発信しています。
<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp>

次の定例会は
12月5日からの予定です。
傍聴をお待ちしています。

編集後記

今年の夏は、まさに「酷暑」という表現がふさわしかったのではないのでしょうか。所沢市議会定例会は、夏の余韻が残る中での開会でした。

議会での議論内容をお伝えできるように市議会だよりを定例会後に発行しています。現委員が編集に携わって2回目、市民の皆さんのご感想をぜひお寄せください。今後に生かしてまいります。(菅)

- 委員長 浜野 好明
- 副委員長 西沢 一郎
- 委員 菅原 恵子 石井 弘
- 末吉美帆子 石本 亮三
- 赤川 洋二 福原 浩昭
- 高田 昌彦

連絡先 議会事務局調査担当
(TEL04-2998-9256/FAX04-2998-9222)

可決された意見書

市議会では、意見書を行政機関等に提出することで解決を求め、議会としての意思を表明します。

独立行政法人都市再生機構住宅居住者の 安定した居住を求める意見書(要旨)

(略)平成15年、国会で「独立行政法人都市再生機構法に対する附帯決議」が全会一致決議された。本市議会でも再三、同附帯決議の履行を求める意見書を提出してきたが、昨今の都市機構を取り巻く情勢は、附帯決議と逆行するような方向に進んでいる。(中略)附帯決議の誠実な履行を訴え、下記のことを強く求める。

1. 都市機構住宅が住宅セーフティネットとしての役割を果たすよう、政府と都市機構はその充実に努めること。
2. 都市機構は居住者の高齢化や収入低下の実態に配慮して、現行の家賃制度及び改定ルールを再検討し、家賃負担の軽減を図るとともに、子育て世帯の優先入居を促進すること。
3. 建て替え後の高家賃を引き下げて、空き家をなくし、都市機構住宅への入居要望にこたえること。
4. 団地内に可能な限り福祉施設の誘致に努めること。
5. 政府と都市機構は、附帯決議をはじめ、国会諸決議を誠実に守り、その実現に努めること。

提出先 内閣総理大臣 国土交通大臣

医師不足を解消し、安心できる 地域医療体制の確保を求める意見書(要旨)

(略)地域住民が安心して生活するためには、救急医療や産婦人科・小児科など必要な医療がいつでも利用できることが重要であり、医師不足問題の解消は喫緊の課題である。(中略)安心できる地域医療体制を確保できるよう、下記について要望する。

1. 地域医療の再構築に向けて、総合的なビジョンを早急に策定すること。
2. 救急医療体制の整備・維持、周産期医療体制の整備・維持のための支援策の拡充を図ること。
3. 小児科医療等の医師不足が指摘される科目の診療報酬の抜本的な見直しを図ること。
4. 公的病院の診療体制の強化を図ること、また、中核病院と地域医療機関の連携を強化するための対策を講じること。
5. 医科系大学の定員の地域枠拡大を図り、奨学金制度の充実など地元への定着を進めるための施策の充実を図ること。
6. 院内保育の確保や、女性医師バンクの充実など、女性医師の仕事と生活の両立を図るための支援策を充実すること。
7. 看護師、助産師の不足に対して積極的な対策を講じること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 ほか3省

議案を可決しました

20件

おもな議案の概要



▲斎藤市長最後の登壇となりました。

平成19年第3回(9月)定例会は、9月3日から9月19日までの17日間の会期で開会されました。市長からは、一般会計補正などの予算関係6件、条例関係が4件、決算の認定12件など32件の議案が提出されました。

この議案のうち、決算の認定12件を9月定例会後の閉会中の継続審査とし、その他の議案をすべて可決しました。

また、議員からは決算特別委員会を設置する議案(3ページ参照)や意見書が提出され、いずれも可決されました。

補正予算

補正予算に関する議案は、一般会計、下水道特別会計、国民健康保険特別会計ほか3件でした。

・一般会計は、6億3,309万6千円を増額し、補正後の予算総額は、820億991万3千円となりました。おもな一般会計補正予算は、次のとおりです。

■所沢保育園耐震工事に伴う経費
1,434万4千円
仮園舎への移転に伴い、臨時の保育士の増員や園児送迎バスの委託にかかる費用です。

問 一部の臨時の保育士は、派遣会社を通して採用されるということだが、仕事内容を伺いたい。

答 送迎バスの中や発着場に配置する。その際、正規の保育士も配置するので、安全性に問題はないと考える。

9月定例会の動き

●9月3日	本会議 提案理由の説明 議案説明 常任委員長報告(特定事件)質疑 常任委員長報告質疑 討論・採決
●9月4日	本会議 議案調査日
●9月5日	本会議 議案質疑 決算特別委員会の設置
●9月6日	委員会 四常任委員会並行審査
●9月7日	休会 一般質問調査日
●9月10・14日	本会議 市政に対する一般質問(25人)
●9月18日	本会議 常任委員会中間報告・質疑・継続審査申出 常任委員長報告・質疑
●9月19日	本会議 討論・採決 追加議案の上程・質疑・採決 議員提出議案の上程・採決

決算特別委員会を設置しました

平成18年度一般会計、各特別会計、水道事業、病院事業会計の歳入・支出予算の執行実績を確認し、内容を審査するため、決算特別委員会(定数9人)を設置しました。

9月定例会で付託された決算認定議案12件の審査を閉会中に行います。

- 《決算特別委員会委員》
- ◎村上 浩(公明党)
 - 大石 健(市民クラブ)
 - 菅原 恵子(日本共産党)
 - 杉田 忠彦(市民クラブ)
 - 平井 明美(日本共産党)
 - 桑島 健也(会派「翔」)
 - 福原 浩昭(公明党)
 - 浅野美恵子(民主党)
 - 浜野 好明(市民クラブ)
 - ◎委員長 ○副委員長

人事案件

■教育委員会委員任命の同意
教育委員の辞職に伴い、次の委員の任命に同意しました。
・富田 常世氏
(上安松・新任・61歳)

工事契約

■斎場火葬炉増設改修工事
業務を開始してから20年が経過し、火葬炉設備が老朽化してきています。安全で安定した稼働の確保と今後の高齢化に伴う社会的要請にこたえるため、火葬炉設備の増設および改修を行います。

契約金額 4億7,092万5千円
契約の相手方 富士建設業(株)

討論

議案に賛成×反対します



■平成19年度一般会計補正予算(第2号) (旧並木東小学校施設改修工事設計委託料関連)

- 反対**
 - ・当初は、博物館構想の実現が主な利用方法であったのが、突如、早稲田大学大学院が入り、長年かかって検討した内容が変更になってしまい納得いかない。
 - ・本計画決定に至る手続は、あまりにも不透明で強引な決め方である。教育委員の早稲田大学准教授が、採決に関わっていることが、審議の公平さを欠いている。
 - ・早稲田大学大学院が利用する部分も、改修費は市が負担し、無償で貸し出すのはおかしい。
- 賛成**
 - ・現在の子どもが直面している問題を考えると、早稲田大学の協力を得た今回の計画は、所沢市が全国に誇れる官学連携のモデルケースであり、未来にわたる教育的財産である。
 - ・手続的にも十分な協議の場を持ち、その意見のもとに計画案が作成されたと考えられる。市民の利用しやすい、市民のための施設になっている。
 - ・市単独でこの事業を行おうとすると、医師の確保など実現は不可能であり、官学連携によってこそ実現できるものである。

■所沢市斎場火葬炉増設改修工事請負契約締結について

- 反対**
 - ・現在、市の斎場を管理受注している会社が97.08%という、極めて高い落札率でとったのはおかしい。
 - 賛成**
 - ・市に入札参加資格者の登録のある3社が入札に参加した。競争性は確保できている。
- 訴えの提起について
- 反対**
 - ・現場を見てきたが、市の管理不行届きの問題である。また、今になってではなく、相手が土地を削った時点で訴えを起こすべきだった。
 - 賛成**
 - ・道路に障害が発生している状態を一刻も早く解消するため、訴訟を起こすものであり、公の道路財産を守る行為として理解できる。

問 この設計で実際に工事するとしたら、改修費用はいくらになる見込みか。
4億6,095万円を予定している。
答 設計の中にある医学的相談室とは何か。

問 床研究センター、ひとつづくり・ものづくりセンター、ふるさと研究センターの入った生涯学習施設を設置するものです。
答 設置するものですが、平成20年1月から御幸町に移転します。



■民間保育園整備補助金
6,062万9千円
学校法人所沢文化幼稚園が、既存の認可幼稚園と今回の認可保育園を統合して、幼保連携型の認定こども園を設立します。県の認定を受け、平成20年4月1日の開園を目指します。

■旧並木東小学校施設改修工事設計委託料 1,300万円
平成18年に廃校になった小学校跡地を利用して、(仮称)教育臨

条例関係

条例の一部を改正する議案が4件提出され、いずれも可決しました。

保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例

新所沢保育園とつぼみ保育園が統合します。定員が180人となり、所沢市立新所沢保育園として10月1日に開園します。



▲10月1日開園の新所沢保育園(緑町)

自転車駐車場条例の一部を改正する条例

現在、無料で一般開放している下山口駅第1・第2および第3自転車駐車場について再整備を行い、有料の自転車駐車場とするものです。

その他の議案

訴えの提起について

訴えの相手方(布日捲コイル対象物件 所沢市松郷2-13-3 西側市道)

同社が所有している市道との境界線部分の土地に、土砂崩落の恐れがあり、道路管理に障害が発生していることから、擁壁の設置を求める訴訟を起こします。

市道路線の認定・廃止 7件



閉会中の議会活動から

市民環境常任委員会

市内の農業について、調査を行いました。

7月24日、農業委員会およびJ



▲アライグマトラップの説明を聞く(ぶどう園)

Aいるま野の方々に、所沢市の農業の現状、行政への意見・要望について話を伺いました。

8月8日、市内農業関連8団体に各団体の活動、行政への意見・要望について話を伺いました。

8月29日、ぶどう園(堀之内)、養鶏・養豚農家(林)を視察し、経営の概況や商品の流通形態、鳥獣被害の現状などの話を伺いました。また、休耕地(中富)の様子も視察しました。

建設水道常任委員会

下水道について、調査を行いました。

7月17日、所沢市の下水道の現状と今後の計画について報告を受



▲雨水管内をトロックで視察(北秋津)

けました。その後、北秋津地区で施工されている雨水2号幹線築造工事の現地視察を行いました。現地では、地中に横穴を掘り進んだシールドマシンを見て、完成したトンネルの中をトロックで見学しました。

議員提出議案

議員からは「松本元伸議員に反省を求める決議」(下記参照)のほか、「独立行政法人都市再生機構住宅居住者の安定した居住を求める意見書」(8ページ参照)、「医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書」(同参照)の3件の決議・意見書が提出されました。いずれも全会一致で可決しました。

松本元伸議員に反省を求める決議

当市議会は、平成16年に、市議会議員の責務と行為規範を定めた「所沢市議会議員政治倫理規程」を制定し、議員の政治倫理の確立を図ってきたところである。この度、松本元伸議員が公職選挙法等の遵守を定めた当規程の行為規範に反したことは誠に遺憾であり、議会に対する市民の信頼を著しく失墜させた。

もとより、市民の負託に応える議員は、いかなる疑惑も招かれないよう常に自らを厳しく律しなくてはならない。

よって、松本元伸議員に自らの政治的・道義的責任を明確にするよう反省を求めるものである。

平成19年9月19日

所沢市議会

市政に対する

一般質問

行政・財政

質問者

- ・桑島健也(会派「翔」)
- ・安田敏男(ゴリラの会)
- ・石本亮三(民主党)
- ・脇晴代(共生)
- ・安田義広(会派「翔」)
- ・大館靖治(市民クラブ)
- ・平井明美(日本共産党)

れ、決算統計データ等を入力して対応できるものと考えている。

市役所東側駐車場の拡張できないか?

議員 市役所駐車場は常に満車で評判が悪い。郵便局側の市道を廃道にして駐車スペースとし、並木通りの郵便局横から直接駐車場に入るよう変更できないか。

財務部長 検討したが、市道の用途転用、費用、収容台数が増加しない等の問題がある。運用面でも



▲市役所東側駐車場

9月定例会では、25人が一般質問を行いました。質問は各議員の多くの質問項目中1項目だけが掲載されています。なお、質問内容の順は、項目ごとの議員名順になっています。

国民負担率の所沢市版の作成を

議員 市税など市民の負担の全体像を簡単に見られない。各種税金や保険、公共料金等、市民の負担が目で分かる仮称市民負担率なる指標を策定する予定はないか。

総合政策部長 市ではさまざまな方法で財政状況を公表しており、他市との比較が大きな要素となっている。一律の作成ではない市民負担率は比較の有効性の検証が難しく、まずは既存の財政情報の充実が必要だと考えている。

長時間残業のない職員の適正配置を

議員 市職員の残業の実態として保健福祉部の課で恒常的に長時間残業があることがわかった。市民

目標は地域づくり 異なってもいいのでは..

議員 市内各地区ごとに、地形風土、街並み、歴史文化、自治会の様子などの個性がある。市のさまざまな計画目標についても、地域ごとの地区目標という発想があつてよいのではないか。

総合政策部長 地区単位の目標値は、地域の実情に応じた進捗管理や事務効果の検証につながると思う。ただし、地区割りの方法や地域特性の考慮の範囲など課題もあり、今後の研究課題としたい。

4期16年を振り返り 退任にあたって

議員 斎藤市長退任を惜しむ声が多く聞かれる。市長としてやり残したと、後任の市長に望むことは何かあるか。

市長 常に「みんなで作る」の気持ちで精一杯取り組んできた。

被爆敷石の存在を 広く知らせてほしい

議員 広島市から譲り受けた同市庁舎の被爆敷石だが、多くの市民はこの貴重な敷石が市役所玄関前に置かれていることを知らない。平和のモニュメントとしてイメージアップを図れないか。

総合政策部長 広報やホームページ、平和祈念資料展等でお伝えしており、今後も同様に伝えていきたい。また、昨年より8月6日から15日にかけて花瓶を設置し、献花できるように対応している。



▲市役所西側・正面玄関前にある被爆敷石

くらし・環境

質問者

- ・小川京子(公明党)
- ・小林澄子(日本共産党)
- ・杉田忠彦(市民クラブ)
- ・水村篤弘(民主党)
- ・菅原恵子(日本共産党)
- ・荒川 広(日本共産党)

雇用を広げる 就労支援センターの役割

議員 市は障害者のための就労支援センターを委託・運営しているが、いまだ就職難の状況の中、ハローワークとの連携はどのようにしているのか。具体的にはどのような支援をしているのか。

保健福祉部長 就職希望者には、ハローワークへ求職登録の上、状況に応じ連絡しながら支援している。就職に際しては適材適所の紹介、受け入れ態勢の説明等、就労に結びつく支援を行っている。

高齢者の事故を防ぐ 免許証返納支援制度

議員 羽生警察署はタクシー会社と協力し、高齢の運転免許証返納者に運賃を1割引く制度を開始している。同制度導入に対する市と

万一の災害に備え 個人情報をご扱つか?

議員 災害時要援護者の支援受付が10月から始まる。福祉部局の持つ個人情報を防災部局が共有化する場合、個人情報保護との関係はどのように考えているのか。

危機管理担当理事 福祉部局の取得した支援対象者の個人情報をはじめ、他の部局が利用することは、いわゆる目的外利用となる。その場合、所沢市個人情報保護審議会に審議をお願いすることになる。

歩行者が踏切を 安心して渡るために

議員 所沢駅南側大踏切は車の量が増え、幅も狭いため安心して歩けない。学生や高齢者の利用が多い時間には交通整理を配置し、



▲所沢駅南側大踏切

所沢警察署との折衝の経過や結果について伺いたい。

市民経済部長 昨年11月に意見交換を行い、所沢署でも高齢者の免許証の自主返納は可能とのことである。ただし、支援制度の導入には、その効果や他県の実施状況等を踏まえ研究し、今後必要に応じて意見交換していく。

緑化による対策が 少し足りないのでは?

議員 緑化には温暖化防止の効果があるという。市では緑化政策として、具体的にどのような取り組みを行っているのか。

環境クリーン部長 今年度、並木保育園でグリーンカーテンを試験的に実施、来年度拡大予定で、小学校でも設置例がある。リサイクルふれあい館屋上にはさつきの苗木を植樹した。今後、公共施設駐車場の芝生化等、設置に向けては関係部署と協議していきたい。

妊産婦の緊急受け入れ 態勢は万全か?

議員 奈良県の妊婦たらい回しの事例等を踏まえ、安心して子どもを生める環境整備は非常に重要と考える。妊産婦からの119番通報があった場合、当市の搬送手順はどうなっているのか。

消防長 まず患者の掛かりつけの同時に歩道を拡幅してもらえらう西武鉄道に依頼できないか。

道路公園部長 踏切詰めに同社の踏切誘導員がおり、交通の管理・誘導を行っている。今後さらなる安全対策について、歩道の件も含め、要請していきたい。

車に依存しない街を 健康へつなぐ推進に向けて

議員 バス利用者や健康のためのウォーキング愛好者からバス停や駅前、商店街等に休む場所がないと聞く。歩く生活を広めるため、街角にベンチを設置できないか。

市民経済部長 設置によって夜間の青少年のたまり場になるなどの懸念はあるが、趣旨は十分理解できる。商店街や地域社会の活性化につながる面もあり、商店街と協議しながら進めていきたい。

医療機関を選定、収容不能や該当が無い場合、市内9か所の産婦人科に依頼する。地域周産期母子医療センター指定病院や救命救急センターもあり、奈良県の類似事案が起こる可能性は極めて低い。

メールを利用して 目で見える情報の充実を

議員 大雨や台風時、ニュースや県のメールで広域の大まかな情報は入るが、所沢市の身近な情報は分からない。気象情報、道路の冠水、通行止め等、生きた市内の情報、耳の聞こえない方にも利用できるメールで配信できないか。

危機管理担当理事 現在、消防本部から市役所の一定の職員に、地震、光化学スモッグ、火災情報等のメール配信が行われている。他市の運用状況を調査し、市の関係部署とも協議し、検討していく。



コミュニティの拠点を 維持してほしい

議員 老人集会所家賃補助制度が今年度で廃止になる。弱小自治会の命綱であり、現状を維持できないのなら代替案を示してほしい。

教育・文化

質問者

- ・荻野泰男(市民クラブ)
- ・矢作いづみ(日本共産党)
- ・西沢一郎(公明党)
- ・岡田静佳(市民クラブ)
- ・城下師子(日本共産党)
- ・大石健一(市民クラブ)

まちづくり出前講座の 活用なる利用促進を

議員 現在98種類ある出前講座は非常に有意義な事業であるが、3年間で一度も開催されていない講座もある。中小企業向けの講座等を市内の事業所、各種団体に対し働きかけてみてはどうか。

教育総務部長 学習団体や自治会等に比べ、これまであまり働きかけを進めていない中小企業や事業所向けの講座利用は少ない。今後はパンフレットの配布等を通じ、利用者の幅を広げていきたい。

少人数学級を どのように進められないか?

議員 県が小学1・2年生、中学1年生で実施した少人数学級を市としてさらに進め、学級編制が急激に変化する場合に、緩和措置を

市民経済部長 自治会の施設維持補助金を交付しているが、集会所の役割が重要となる反面、会員の高齢化、負担増等の問題もあり、問題解決に向けて研究していく。

保健福祉部長 お逢者倶楽部事業を見直し、内容を充実する案をまとめた。老人集会所制度利用5団体に説明し、持ち帰り検討の上、再度話を伺う予定である。

保健福祉部長 お逢者倶楽部事業を見直し、内容を充実する案をまとめた。老人集会所制度利用5団体に説明し、持ち帰り検討の上、再度話を伺う予定である。

まちづくり・防災

質問者

- ・島村省吾(市民クラブ)
- ・福原浩昭(公明党)
- ・高田昌彦(会派「翔」)
- ・吉村健一(公明党)
- ・浅野美恵子(民主党)
- ・末吉美帆子(市民ネット)

危険と隣り合わせの 十四軒交差点の改良を

議員 富岡地区の十四軒交差点は丁字路手前で神社をよける形に急カーブしていて見通しが悪い。地元の高齢の懸案である同交差点の整備計画について伺いたい。

道路公園部長 市の整備計画はないが、安全な通行に支障があることは認識している。神社の移設は難しく、道路を東側に振るには隣

講じることはできないか。

学校教育部長 平成5年度から少人数指導加配等の教職員が、各学校に配置されるようになり、すでに少人数指導の充実が図られてきている。市では平成14年から教員補助員を配置し、進級時の変化の緩和にも配慮している。

特別支援教育の現状と 具体的な活動は?

議員 自閉症や学習障害等のある児童生徒に対する特別支援教育が本格的に実施となった。支援員は市内各校に何人程度配置され、どのような活動をしているのか。

学校教育部長 特別支援学級のある小学校10校に12人、中学校3校に6人の介助員を配置、教員補助員を小学校11校に15人、中学校3校に6人配置し、学習・生活支援を行っている。適切な判断や助言に向け、医療関係者等を含む専門家チームも設置している。

自主事業を見直し 市民の利便性向上を

議員 ミニーズの予約が取りにくく、先行する自主事業の会場確保に一因があると思う。事業の収支比率も考慮し、市民が優先的に予約できるように見直せないか。

市民経済部長 現在、同規模の文化会館39施設に市民の優先予約に

接地権者や地域のご理解、ご協力がないと整備は難しいものがあり今後検討していきたい。

「アダプト・プログラム」 道路里親制度の導入を

議員 道路を養子に見立て、市民が里親になって美化し、行政が支援するアダプト・プログラムは、地域コミュニティ強化に向けたポランティア活動の推進・啓発となる。導入への考えを伺いたい。

道路公園部長 市道を管理するための予算確保が年々難しくなってきた。同制度は、道路美化の推進、地域社会のコミュニティに大変効果があると認識しており、実施の方向で検討していく。

市の土地をそのまま 広場に使えない理由は?

議員 元町北地区の再開発で広場に整備される土地は、ほぼ市所有の土地と中央公民館があった所である。その土地を3億6千万円もかけて買い取るのはなぜか。

中心市街地整備担当理事 市街地再開発では、権利変換で事業施行前の従前権利は完了後の床・敷地に関する権利に変換される。同公民館の従前権利は新公民館の床・敷地に権利変換され、広場計画の土地には市の権利は残存せず、整備費用は市の負担となる。

教育の機会を保障する 入学準備金貸付制度

議員 3月定例会で、入学準備金貸付制度の限度額の拡充と貸付時期を推薦入学にも利用可能にと質問した。申し込み時期については早期に試行的に行うとの答弁だったが、その後どう検討したのか。

教育総務部長 検討の結果、貸付額は従来どおりだが、貸付時期を1期と2期の2度にし、1期分は推薦入学にも対応できるよう10月から申し込めることとした。

質の高い発表の場として 柔軟な運営を

議員 中心市街地活性化、地域交流センターに位置づけられる中央公民館のホールに大きな期待が寄せられている。今後どのように運営規定が決まっていくのか。

教育長 ホール機能を効果的に生かす運営規定の整備が必要で、同公民館竣工時には公民館設置及び管理条例等の見直しも必要だと思ふ。新たな地域活性化の拠点として、市民のご要望にお応えできる施設運営を十分検討していく。